

一般質問

観光協会の統合が 佐渡観光再生の スタート



渡辺庚二 議員

質問 市長は、「離島特区」という言葉をしばしば口にされる。特区は、具体的な対象がなければ指定を受けられない。何を対象にして特区の申請をするのか。

市長 いま考えているのは、車10万台以上でないと認められない「佐渡ナンバー」を特区で認めてもらうとか、海洋深層水を利用した「どぶろく」の製造とかである。

その他バイオマスとか、太陽光発電とかが考えられるが、具体策については、新設する「特区・離島振興室」で詰めていきたい。

質問 佐渡金銀山のユネスコ遺産登録運動の展望について、すでに石見銀山が暫定登録されている段階で、金銀山のみ登録は困難であると聞

くが、複合遺産の登録とすれば、どのような組み合わせを考えているのか。

市長 まったく同感である。担当課の尻を叩いて、作業を進めるよう努力したい。

教育長 佐渡金銀山は、比類のない価値を持っているが、実態の解明はなされていない。

まず、文化庁、県の指導をいただきながら発掘調査をし、あわせて、金銀山によってもたらされた、文化遺産を含めた申請になると考えている。

なお、島民世論の盛り上がりも必須の要件である。

質問 観光振興と言いつ

ても、予算の大半は、地域の祭りに使われている。しかも、地域間で脈絡もなく島外への情報発信が行われていて、宣伝の効果に疑問がある。来年4月に観光協会を統合する予定というが、誘客宣伝活動は秋から始まる。前倒しで9月に統合を実現しなければ、統合の成果を来年に期待するこ

とはできない。

市長 文化財の散逸が懸念されている。島内の博物館を統合して、文化振興財団を設立し、民の力で文化財の収集、効率的な展示、運営を図るべきである。

質問 文化財の散逸が懸念されている。島内の博物館を統合して、文化振興財団を設立し、民の力で文化財の収集、効率的な展示、運営を図るべきである。

教育長 現在市営の博物館3館と、民営のものが1館ある。それぞれに指定を受けた文化財を保管しているの、ただちにといいわけには行かないが検討したい。

市長 現在市営の博物館3館と、民営のものが1館ある。それぞれに指定を受けた文化財を保管しているの、ただちにといいわけには行かないが検討したい。



質問 現在、佐渡博物館に、佐渡固有の「ひげ地鶏」が約50羽飼われている。年々増えるので、一部を利用して、一代雑種を作出し、新しい食材を作ることができないかとの相談を受けて試験飼育したところ、大変良い結果が得られた。関係者は、飼育組合を立ち上げて取組んでいるが、佐渡に処理施設がないために行き詰まっている。現在の佐渡では、鶏一羽も流通に乗せられない。観光振興の面からも必要なことである。市が手を差し伸べるべきであると思うがどうか。

市長 施設の整備に市としても努めていく。

質問 沖縄の竹富町に、黒島という島がある。面積10平方メートル（加茂湖の倍）で人口は230人。2月末の牛祭りには、3000人の人が押しかける。2月17日、島に渡って来たが、農家の平均売上が570万円、島は活気に満ちていた。佐渡では、乳牛600頭、和牛は500頭しかない。オーナー制度等で、せめて和牛1000頭を目標にできないか。

市長 農業と畜産の結びつきは大切である。オーナー制度については、冬場の飼育が課題と思うが、十分検討したい。

質問 国営・県営土地改良事業の負担率のことで意見が出されているが、合併前の申し合わせで、積立金を農家負担に当てることで、合併時に5町村で、8億2600万円が市の金庫に収められている。一部積み立てがなされなかった事情は問わないが、この事業は、佐渡農業の将来にとって必要なことなので、市長の見解を問う。

市長 食料問題は、将来的には困難が想定される。今のうちに整備をする必要があるので進めていきたい。

